



上北地域の連携強化に向けた取組

上北地域連携事務所 地域支援課



テーマ：上北地域の連携強化に向けた取組

企画・実践の事業

地域住民と連携した取組

⇒市町村伴走支援事業

市町村と連携した取組

⇒青森新時代共創ラボ・地域の価値共創プロジェクト

地域団体、企業等と連携した取組

⇒青森新時代共創ラボ・地域の価値共創プロジェクト、先輩から後輩への夢相伝講座

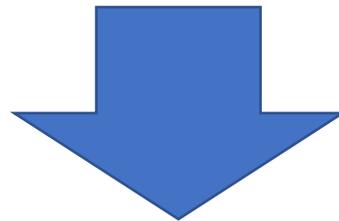
人財育成支援

地域づくり勉強会、課題解決ブートキャンプ 等

おいらせ町に対し支援を実施。→ 支援内容：空き家活用促進に向けた支援のあり方検討

課題

- ① 町内で増加傾向にある空き家の活用
- ② 高齢者や若者が交流する多世代交流の場づくりの創出



支援後に目指す姿

持続可能な空き家の運営事例をつくることにより、これをモデルケースとして町全体で空き家（空き物件）活用の横展開を図っていききたい。

市町村伴走支援事業 ～地域住民と連携した取組～

<令和7年度の実施経過>

5月下旬 町担当者、空き家所有者との打合せ

～9月上旬

9月下旬 **アドバイザー派遣を決定（弘前大学 平井 太郎 教授）**

→活用空き家の運営体制の支援、地域交流の場づくりについてアドバイスを行う。

11月中旬 **第1回しもくば会議（ワークショップ）開催**

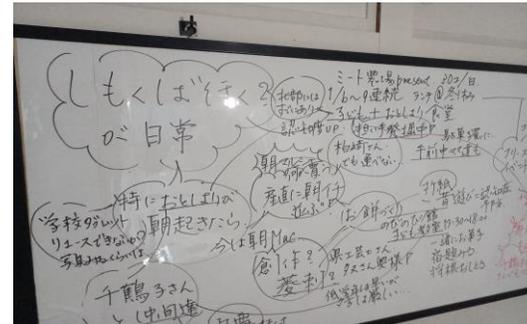
→周辺住民・学校等との顔合わせ

3月下旬 **第2回しもくば会議（ワークショップ）開催（予定）**

→活用空き家を中心とした具体的な取組検討

※空き家は「**しもくば**」という名前で親しまれている。

下前田（しもまえだ）の+楽しく過ごす場（くば）=シモクバ



住民が気軽に集まり、話し合える場となれるよう、**ワークショップ**を定期開催し、周辺住民とのさらなる連携強化を支援していく。

成果

“民”主導による多世代交流のための取組がスタート

実施取組① 駄菓子屋、子どものフリースペース（子ども×高齢者）



実施取組② 百石高校生によるスマホ教室（高校生×高齢者、高齢者向けのデジタル・デバイト対策）



実施取組③ 地域おこし協力隊による移住者交流会の実施（新たなイベントスペースの可能性）

▶地域おこし協力隊移住者交流会
▶北公民館文化祭
▶町議会議員と語る会

まちのわだい

宮隊員が移住者交流会を開催

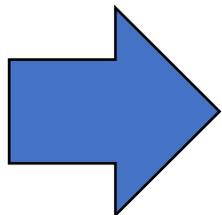
地域おこし協力隊移住者交流会 11月2日

町の地域おこし協力隊である宮康彰隊員は、空き家を改装・活用した施設「駄菓子のシメクバ（下前田）」で移住者交流会を開催しました。

当日は、町の移住者やUターン者などが参加。マツザキコーヒーロースタリー店主・松崎理恵さんによるおいしいコーヒーの淹れ方講座も同時開催され、終始和やかな雰囲気での暮らしの魅力などを語り合いました。参加者らは、「子どもたちへの支援がすごく丁寧」「中高生が安心して利用できる学習スペースがあるとうれしい」といった話題で盛り上がりつつありました。

▲交流会でコーヒーの淹れ方を教わる様子

（R8年1月の町広報より）



持続可能な運営体制、新たな空き家活用に向けた取組を進めていく。

背景

- ①上北圏域では、圏域内の市町村が連携したり、一堂に会して実施するようなイベントの実績が少ない。
- ②これまで、上北圏域市町村と連携事務所（県）が連携して取り組みを行う機会もあまりなかった。
- ③地域連携に取り組む企業（イオンモール下田）が上北圏域市町村との連携・つながり不足を感じている。



圏域全体の連携を強化し、
新たなつながりをつくる“きっかけ”となる場が必要



上北圏域の市町村が連携し、一体感を持って地域の魅力等をPRすることを目的とした「**上北圏域連携イベント**」を1/10～11の2日間開催
(場所はイオンモール下田1階西コート)

1/10 (土) **青の煌めき 国スポ・障スポ応援フェス** 開催
1/11 (日) **魅力発見！まるっと上北フェア** 開催

<開催までの流れ>

- 8月上旬 ラボメンバーからイオンモール下田30周年企画活用の提案
- 8月中旬 管内9市町村にイベントの開催について打診
- 9月上旬 上北圏域連携イベントのテーマを決定
市町村へ正式に協力依頼 + 参加できる企画について照会
- 10～11月 企画内容について市町村と調整
- 12月上旬 市町村を対象にした**事前説明会**を開催
- 12月中旬 市町村及び事業者を対象にした**オンラインミーティング**開催
- 11～12月 9市町村から素材を集め、館内広告(通路フラッグバナー)・デジタルサイネージ用動画・イベントチラシ(5,000部)等を作成



実施内容①

イベント名 青の煌めき国スポ・障スポ応援フェス

開催日時 令和8年1月10日（土） 11:00～16:00

テーマ
✓国スポ・障スポPR
✓ご当地ゆるキャラによる市町村PR

内容

- ・「青の煌めきダンスコンテスト」上北地域入賞者によるダンスステージ
- ・ご当地ゆるキャラ大集合 …市町村8体、県1体
※駒松くん（十和田市）、ほっきーなちゃん（三沢市）、じ～の（野辺地町）、メイプルくん（六戸町）、なっちゃん（横浜町）、しじみーる（東北町）、ロクジロー（六ヶ所村）、おいらくん（おいらせ町）、アップリート君（県）が集合
- ・競技体験ブース出展 …4市町
※ゲートボール（十和田市）、ホッケー（三沢市）、剣道（七戸町）、ファインボール（おいらせ町）
※十和田市・横浜町・県のゆるキャラも登場
- ・缶バッジ作成コーナー …3市町
- ・大型デジタルサイネージによるPR動画上映
- ・パンフレットコーナー



実施内容②

イベント名 魅力発見！まるっと上北フェア

開催日時 令和8年1月11日（日）11:00～16:00

テーマ 上北圏域市町村の情報発信・PR
(メインは物販)

内容

- ・物販・PRブース出店 …8市町村
- ・ご当地ゆるキャラ登場 …市町村4体、県1体
※十和田にんにん（十和田市）、ほっきーなちゃん（三沢市）、なっちゃん（横浜町）、
おいらくん（おいらせ町）、アップリート君（県）が登場
- ・大型デジタルサイネージによるPR動画上映
- ・パンフレットコーナー

※イオンモール下田1階通路には、上北圏域全体+9市町村分のフラッグバナーを設置
(掲示期間は令和8年1月～2月)



成果 連携事務所と上北圏域9市町村が協力・連携してイベントを実施（初の取組）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町
1/10 ゆるキャラ大集合	○	○	○		○	○	○	○	○
1/10 国スポ競技体験	○	○		○					○
1/11 物販・PRブース	○	○	○		○	○	○	○	○
パンフレットコーナー、PR動画上映	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9市町村
すべてが、
いずれかの
企画に参加

※イベント終了後の振り返り（9市町村への個別ヒアリング）結果より

- 市町村が単体でやることは厳しいため、今回、連携事務所が圏域で開催する枠組みを作ってくれてよかった。
- 物産や観光関係で市町村が集まることはほぼないので、横のつながりを補う形のイベントとしてよかった。
- フラッグバナーやデジタルサイネージ動画は上北圏域の一体感を醸成するのに効果的だった。
- 他のブースとも交流できて非常に良いイベントだった。
- 競技体験では、普段町内で開催する場合と違う客層にPRできてよかった。
- 物販について、あまり知られていない商品等をPRできたという意味では、地元に近い会場でも効果はあったと思う。
- 物販・PRブース出店により、観光協会のInstagramのフォロワーが100人増えた。
- 今回やってみたおかげで、イオンモール下田で町単独のイベントを開催しようかという話が出ている。

引き続き圏域全体の連携を強化するため、**上北圏域で連携した取組の継続・進化を目指す**

背景

① 青森新時代共創ラボ

- ・ごみの分別がかなり緩い地域がある
- ・子どもたちの体験や教育につながるイベントをやりたい
- ・地域団体が行う環境に配慮した取り組みを紹介したい

② 上北農林水産事務所（福祉事業所）との連携

- ・農福連携の取組みをPRする場が不足している
- ・農福マルシェ（物販）だけでなく、お客様も事業者側も一緒に楽しめる自由で奇抜なイベントを開催したい



“地域のやってみたいこと”を実現し、上北圏域の地域活性化につなげることを目的とした「上北圏域連携イベント」を1/12、18、31の3日間実施
 （場所はイオンモール下田1階西コート）

- 1/12（月祝） 身近な廃材が変身！地球にやさしいわくわくワークショップ 開催
- 1/18（日） Let`sエコアクション！～今からできる、地球にいいこと～ 開催
- 1/31（土） 農福やるべえ！ひろば in 上北 開催



実施内容①

イベント名 身近な廃材が変身！地球にやさしい
わくわくワークショップ

開催日時 令和8年1月12日（月祝） 13:00～16:00

テーマ ✓ 「資源の有効活用」を楽しく学ぶ
✓ 環境に配慮した取り組みの紹介

内容

・廃材を使ったワークショップ

空き容器を使ったスノードームづくり、木材を使った置物づくり、ダンボールを使ったスマホづくり、ほぼ廃材から生まれた射的ゲーム、貝殻アート、へちまクイズ

・無料おさがりコーナー

おさがり服、絵本、おもちゃなどの持ち込み・持ち帰り

参加者

- ・廃材を使ったワークショップ …約200名（6ブース合計）
- ・無料おさがりコーナー …50名以上



実施内容②

イベント名 Let`sエコアクション！
～今からできる、地球にいいこと～

開催日時 令和8年1月18日（日） 11:00～16:00

テーマ

- ✓ 「ごみの減量・分別」を楽しく学ぶ
- ✓ 「資源の有効活用」を楽しく学ぶ
- ✓ 環境に配慮した取り組みの紹介

内容

- ・ **ごみを減らす方法を学ぶ買い物ゲーム**
- ・ **捨て活エコセミナー**（捨て活講座＋お財布の整理）
- ・ **ごみ分別釣りゲーム**
- ・ **ほぼ廃材から生まれた射的ゲーム**
- ・ **おもちゃ病院**
壊れたおもちゃを治して、長く大切におもちゃと遊ぶお手伝いをする

参加者

- ・ 買い物ゲーム …10組（各回満員）、合計34名の親子
- ・ 捨て活エコセミナー …13名



実施内容③

イベント名 農福やるべえ！ひろば in 上北

開催日時 令和8年1月31日（土） 11:00～15:00

テーマ ✓農福連携※の取組周知・拡大

※農林水産業の担い手の一員として障がい者が活躍することにより、農業経営の発展とともに、障がい者の就業機会の確保等につなげる取組

内容

- ・PR・展示・相談コーナー
- ・農福関連商品の販売
- ・ワークショップ
プラバンキーホルダー作り、多肉植物の寄せ植え体験など
- ・ステージ企画
にんにく皮むき競争、落花生すくい競争、野菜釣り競争

参加者

- ・ワークショップ …約100名
- ・ステージ企画 …約70名



先輩から後輩への夢相伝講座 ～団体（学校）・企業等と連携した取組～

- 上北地域では、高校1校、中学校4校で講座を実施

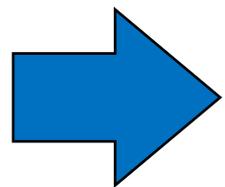
実施日	学校名	受講生
7月4日（金）	県立野辺地高校	1学年 21名
7月11日（金）	おいらせ町立下田中学校	3学年 65名
8月27日（水）	三沢市立堀口中学校	3学年 119名
8月29日（金）	三沢市立第三中学校	全学年 41名
11月6日（木）	十和田市立東中学校	1学年 109名



- 講師は企業・公的機関合わせて13団体に依頼

→ 7団体が今年度初参加

→ 企業が11社、うち10社が上北地域に会社・店舗（本社・支社、営業所、工場等）のある企業



講師を新規開拓するとともに、「上北らしさ」を出した地域に密着した講座とすることができた

先輩から後輩への夢相伝講座 ～団体（学校）・企業等と連携した取組～

●生徒の他、学校（担当教員）、講師にも事後アンケートを実施

生徒から

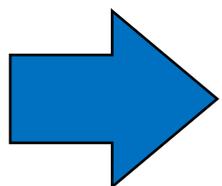
- ◎96%の生徒が本講座が進路を考えるうえで「非常に参考になった」または「参考になった」と回答
- ◎56%の生徒が講話から「ますます青森県で働きたいと考えるようになった」、「青森県で働きたいと考えるきっかけになった」と回答

学校から

- ◎全ての学校が来年度も本講座を「是非実施したい」または「実施を検討したい」と回答
- ◎「生徒だけではなく職員にも響く内容だった」「（講師について）先生たちや生徒からは名前が挙がらない会社を呼んでいただき、興味深かった」という声もあった→職業体験等他の学校行事での繋がり継続に期待

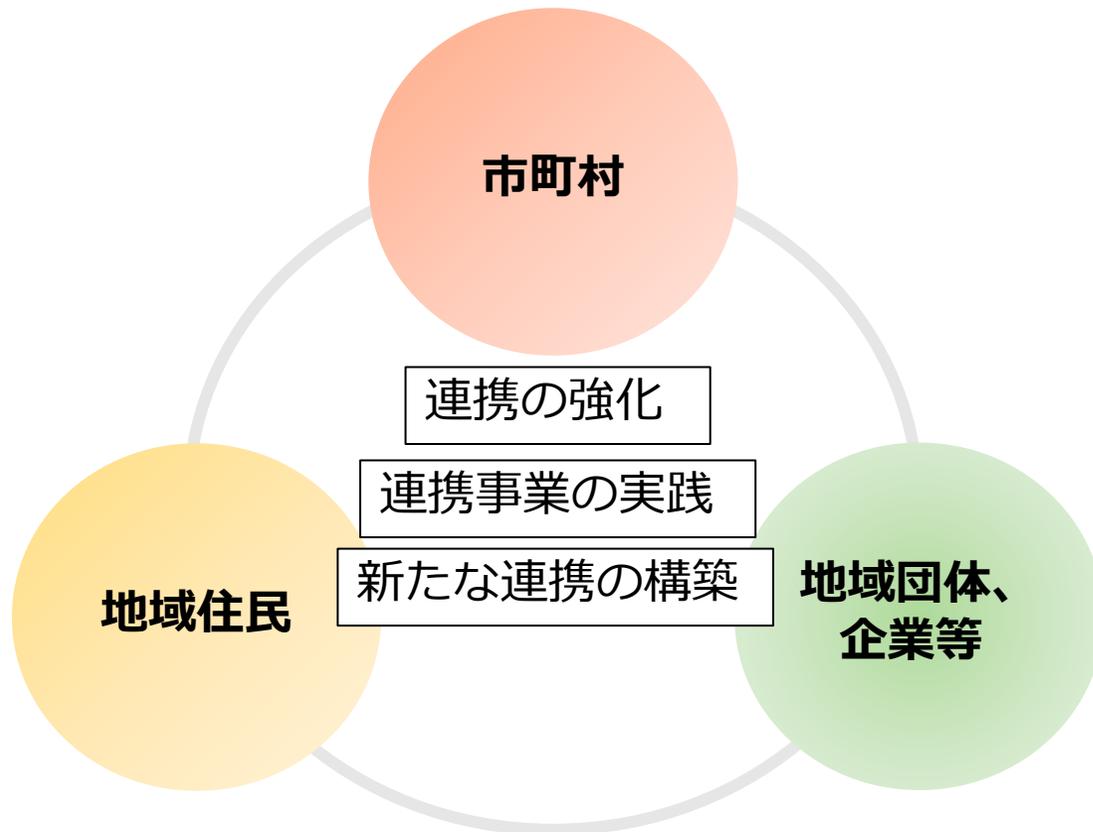
講師から

- ◎学校との連携や地域との繋がりづくりに協力的・意欲的な企業・団体と出会うことができた
→**ラボ・プロジェクトでの関係構築**にも繋がった
- ◎11団体が来年度も講師として「是非参加したい」または「機会があれば参加したい」と回答



生徒・学校（教員）・講師それぞれにとって有意義な講座とすることができた

テーマ：上北地域の連携強化に向けた取組



それぞれの取組はまだ始まったばかり

今後は

- 地域づくりに取り組むきっかけづくり・機運醸成
 - 持続可能なしくみづくり
- をより一層図っていく必要がある。



- ・今年度の取組のフィードバック
→市町村・関係団体の声を聞き、課題は改善、良い部分は継続・進化
- ・今年度の新たな「出会い」を活かす
→各取組間での「つながりの横展開」も視野に入れる
- ・ネットワークの拡大
→より連携事務所を知ってもらい、「縁」を増やす